

【追悼文】

榊原欣作 初代理事長 逝く

学会代表理事 眞野 喜洋
学会副代表理事 川嶌 眞人



榊原欣作初代理事長

本学会初代理事長，榊原欣作名誉教授は本年（2011年）8月22日早朝，御逝去されました。

榊原先生は昭和26年に名古屋大学医学部を卒業され，同年4月より1年間の実地修練を同大学附属病院で研修後，同大学医学部において研究および診療に従事し，昭和33年に附属病院助手に採用されました。昭和50年に助教授に昇任され，57年に医学部附属病院教授に任命されると同時に高気圧治療部長を併任されて，教授在任中の昭和62年7月22日より昭和64年7月21日までは附属病院長を務められました。平成2年3月31日に定年退職，同年4月1日付けで名古屋大学名誉教授の称号を授与されました。

本学会は昭和41年（1966年）に高気圧環境医学研究会として発足しましたが，発足時からの設立メンバーの一人として御活躍され，学会が幹事会制度から理事会制度に切り替わった昭和53年（1978年）1月1日より平成7年（1995年）12月31日まで初代理事長として本学会をリードされました。

名古屋大学在任中の榊原理事長はHBOの普及と発展に大変積極的であり，同大学内に超大型の高気圧酸素治療室を建造し，国内におけるHBOの創成期において中心的な役割を果たされたと言っても過言ではありません。我が国の高気圧酸素治療の草分けとして数々の業績を挙げられると共に，技師や管理医の養成に熱心であられました。さらに，高気圧酸素治療の安全基準を確立し，その基本的考え方を示されました。

理事長退任後は執筆活動に従事され，2009年に医学書院から「高気圧酸素治療の基礎と臨床」という664ページにのぼる大書が出版されました。本書はまさに「高気圧酸素療法第一人者が，基礎・臨床および黎明期から今日にいたるまでの開発の歴史と研究歴をまとめた集大成」（医学書院）として榊原先生の人間史とも言える遺作となりました。

晩年はお身体が御不自由となられたそうですが，本年8月名古屋大学附属病院に搬送され，そのままご家族に看取られて86歳の大往生であられました。

榊原先生のご冥福を，心からお祈り申し上げます。